



No.10

人生でどのくらい必要？ 新社会人が学びたいお金の話

4月は新入社員が社会人としての第一歩を踏み出す季節。人生で必要となるライフイベントの資金と貯蓄や保険について、しっかりと知っておきましょう。



Illustration_Keiko Katsuyama

教えてくれたのは……

氏家祥美さん

うじいえよしみ / FFP事務所ハートマネー代表。遊びゴコロあるライフプランを共に作るファイナンシャルプランナー・キャリアコンサルタント。「お金・いきがい・つながり・健康」のバランスが取れた100年人生をサポートする。金融リテラシーの普及にも努める。



1. 挙式・披露宴の平均は344万円。 人生で必要な資金を蓄えておこう

社会人になって給料をもらい始めたら、計画的に貯蓄を始めましょう。貯蓄の目的の一つに、人生の重要な出来事に備えて準備する「ライフイベント資金」があります。例えば、結婚の挙式・披露宴やパーティーにかかる平均費用は約344万円とされています。また、子どもが大学に進学した場合には4年間の学費としてひとり当たり国立が約243万円、私立が約408万円というように、教育費にもまとまった費用がかかります。住宅の購入は住むエリアや購入する物件によって費用が異なりますが、頭金を多く用意できるほうが、ローンの総返済額が

2. 若いうちは手取りの約10%。 その後は約30%の貯蓄が理想

貯蓄の必要性がわかったら、お金を貯める仕組みづくりをします。確実に貯める方法の一つに「給与天引き」があります。労使による協定が必要ですが、会社が導入していれば給料から自動で貯蓄分が引かれることから、計画的な貯蓄が苦手な方にもおすすめです。また、給与天引きを会社が導入していても、給料日に一定額を通常貯金から自動的に払い出し、定期貯金に預け入れができる「自動積立定期貯金」が便利。自分でがんばろうとせずに、「自動化」することがポイントです。毎月の貯金額の目安は、ひとり暮らしは手取りの10%、実家暮らしは20%です。10%が難しい場合は、無理をせずに数千円の積立から始め、給料が上がったら増額しましょう。ボーナスからまとめて貯蓄する方法もあります。ある程度の余裕ができたら、30%程度を目指してください。

3. いざというときのために 保険についても考えておこう

貯蓄の目的は、ライフイベント資金だけではなく、病気の支やけなどで休業しても生活費はかかりません。医療費の支払いも必要です。リスク予備資金として貯蓄するとともに、保険に加入してリスクに備えましょう。生命保険には、死亡保険、医療保険、養老保険、個人年金保険などがあります。これらのうち、20代で最初に備えておきたいのが「医療保険」です。医療保険は、入院日数に応じた入院保険金を受け取れるものが主流となっています。保険加入時に健康状態などを告知する場合があります。年齢が上がるにつれて保険料も上がる傾向があるため、若くて健康なほうが保険に入りやすくなります。まずは医療保険から加入して、その後の家計や家族構成の変化に応じて保障を上乘せいでいきましょう。生命保険の加入率は、世帯主が29歳以下の世帯の場合69.5%ですが、30歳以上になると一気に80%超に上昇します。年間払込保険料は、家族ができて必要保障額が増える人が多い40代以降で高くなっています。若いうちに保険に加入したうえで、状況に合わせて保障内容を調整していく人が多いようです。

ライフイベント資金の目安

結婚 ^{※1}	出産 ^{※2}	教育資金 ^{※3}	住宅購入 ^{※4}	車両購入 ^{※5}
344万円	52万円	国立大学 243万円 私立大学 408万円	建売 3,826万円 マンション 5,592万円	264万円

出典：
※1 リクルート「ゼクシィ結婚トレンド調査2024」(1万円未満は四捨五入)
※2 厚生労働省「出産費用の状況等について」(平成6年度上半期、1万円未満は四捨五入)
※3 文部科学省「国公立大学の授業料等の推移」(2023年のデータの授業料×4年分+入学金で計算、1万円未満は四捨五入)
※4 住宅金融支援機構「2024年度フラット35利用者調査」
※5 日本自動車工業会「2023年度乗用車市場動向調査について」

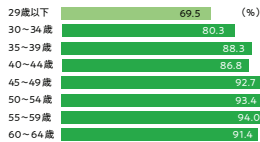
金融資産保有額 (単位:万円)

	単身世帯		2人以上の世帯	
	平均値	中央値	平均値	中央値
20代	255	37	525	125
30代	501	100	1,096	311
40代	859	100	1,486	500
50代	999	120	1,908	700
60代	1,364	300	2,683	1,400
70代	1,489	500	2,416	1,178
全年代	919	130	1,940	720

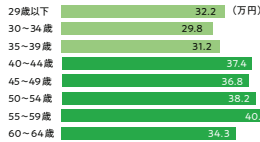
出典：金融経済教育推進機構「家計の金融行動に関する世論調査(2025)」(金融資産を保有していない世帯を含む)

と考えると、その後も増えにくく思われます。

生命保険加入率 (世帯主年齢別)



世帯年間払込保険料 (世帯主年齢別)



出典：生命保険文化センター「生命保険(個人年金保険を含む)の加入状況」※2024年(令和6年)度 ※対象：2人以上世帯